

53回卒業クラス会（53会）総会を新潟で開催

クラス会のメリットは何か？ 参加者も世話役も答えの出ぬまま、総会を企画・開催・参加、話し・笑い・考え、そして別れて次を企画する。この繰返して50年になる。

我ら日歯大第53回卒業生クラス会（通称：53会＝ゴーサンカイ）は1964年3月卒業後、初めは4年ごと最近は毎年、総会・交流会を開催。本年の卒後50年記念大会（通算30回）の「53会東京2014」を最後に事務局を縮小し、名簿作製・全員への会報送付・訃報連絡等は役目を終え、以降は有志による単発の集いを中心にする方針である。

昨年の総会・交流会：「53会新潟2013」は新潟県の三村秀夫君、小坂井透君のお骨折りで10月1日（火）～3日（木）、月岡温泉と新潟市で、同伴者を含め38名の参加を得て開催され、オプションとして、1日にゴルフあるいは新発田市内ミニツアーが、3日には佐渡島観光が開催された。

メインの総会・交流会は、1日夜、月岡温泉ホテル華鳳別邸「越の里」にて開かれ、日本歯科大学理事長・学長・校友会会頭の中原泉先生には、学年が近いこともあって、故人となった私達の級友の名をあげて偲んでいただき、さらに、校友会本部監事の久保木弘君はじめ多くの級友と、会の最後まで親しくお話しいただいた（有り難うございました）。

ホテル華鳳の別邸「越の里」は、立派な施設と徹底したサービスに見合った料金の

経営で有名である。我らにとっては非日常の世界だが、真の「サービスと経営」について教わった貴重な体験だった。

2日午前は、北方文化博物館「豪農の館」を見学。江戸を遠く離れた越後の文化の高さ、経済の大きさ、政治の力強さには目を見張り、戦後の混乱の中、この文化を残した人々に感謝した。

2日の午後は新潟生命歯学部でお世話になった。学部長の関本恒夫先生には、記念写真の後、新潟生命歯学部の歴史と概要につき講義をいただいた。副病院長の黒川裕臣先生と教務部副部長の佐藤利英先生には、綿密なスケジュールの下、大学の現状を講義いただき、病院見学・学生講義見学をお世話いただいた。また「医の博物館」・学芸員の樋口輝雄氏には、懇切な説明をいただいた。我らは何を見ても50年の歳月の大きさを再認識し、母校への誇りを胸に帰路についた。

2日の夜はホテルオークラにて懇親会。そして15階のバーで自由参加の夜景観賞懇談会。お酒と食の量は半減したが、話したいことが倍増した元気老人達は、これからも若者を支える気概十分で、遠慮はしないが深慮は必要と、今後の生き方論議で盛り上がった。クラス会とは好かれ頼られる老人への学習会でもあった。

（中久木一乗 記）



日本歯科大学理事長・学長・校友会会頭 中原泉先生を囲んで
平成25年10月1日 於 新潟県月岡温泉 ホテル華鳳別邸「越の里」